



森づくりの厳しい作業を行う賀露町自治会のみなさん(若桜町)



ミズナラを約600本植樹

健康な森林ほど水を貯える働きが大きく、こうした森林は数十年という長い期間をかけ造られるものである。水不足が起きてから、荒廃した森に

水源林の大切さを伝えていきたい



賀露町自治会 会長 濱田 寛 さん

千代川の水は「日本一おいしい」という人がいるほど、鳥取市は水に恵まれている。これは、上流域の智頭や若桜という古い歴史を有する林地の豊かな森林が、水を育み安定して供給してくれているからである。

健康な森林ほど水を貯える働きが大きく、こうした森林は数十年という長い期間をかけ造られるものである。水不足が起きてから、荒廃した森に

目を向けるようでは遅過ぎる。こうした中で、鳥取市が本年度創設した「森づくり市民活動支援事業」の趣旨に諸手をあげて賛同した。

本事業への新たな参加者も募集して、水源地域の雑草が繁茂した荒れ山にミズナラを植え、水源林再生を図ると共に、過酷な森づくり作業の体験を通じて、荒廃した森林の現状確認と水源林の大切さを実感してもらった。今後も荒廃森林の増大の危機と森林の働きを、参加者とともに啓発活動を続けていき、荒廃森林の復旧の一助となればと思っている。

この「森づくり市民活動支援事業」で植樹した場所は、林道から遠い急峻な山で、しかも、岩石が多く植樹作業には大変危険な所で、参加者全員に恐ろしさと戸惑いが見られました。急な山道を汗をかきながら、中腹まで登り、指導者の事故防止のための落石防止の細心の注意と適切な植樹技術指導のもとに、足場の悪い急斜面において、気の抜けない危険な作業と山仕事の苦しさの体験を通じて、森林の大切さと広大な山を守り育てられている山村の皆さんのご苦勞を、あらためて認識

元気で美しい森に成長することを願って



女性の森グループ 代表 井関 伸子 さん



作業を終え急な斜面を下る女性の森グループのみなさん(智頭町)

したところです。作業を終えて、山の麓に「鳥取市水源かん養の森」の標柱を設け、参加者全員の記念写真と来年夏の下草刈りを全員一致で約束したことは、必死の思いで植えた苗木が、美しい森に成長することを願うのであり、この森に對する愛着を確信しました。

午後は、荒れた森と元気な森林ほど公益的な働きが大きいことを学習し、一日も早く適切な管理による健康な森林への復旧を痛感しました。

水をはぐくむ「緑のダム」の働き

■水を貯える

森林の土の中には、落ち葉のすき間や小さな生き物などが空けた穴でいっぱいです。まるでスポンジのように雨をたくさん吸いこんで水を貯えてくれます。

■土を守る

森林の土の中には、木の根っこが網の目のようにはりめぐらされています。この根っこの網が、土や石をしっかりとつかんで、くづれようとすると土をおさえる働きをしてくれます。

■きれいな水をつくる

雨水が森林の土にしみこみ土の中をゆっくりと通りすぎていく間に、土や微生物が、不純物を吸い取りきれいな水をつくれます。



問い合わせ先 農林水産課
(☎ 20-3235)